



- 会長／矢島 進
- 副会長／山岸邦太郎・北澤洋之介
- 幹事／林 尚孝
- R 情報(会報)委員長／佐伯克己

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2814 回例会 2017 年（平成 29 年）11 月 21 日(火)

点 鐘：矢島 進 司 会：宮坂晃介
斉 唱：それこそロータリー
ラッキーNo：NO. 2 林 尚孝
結 婚 祝：中畑隆一・小口 隆・宮坂晃介

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。

早いもので、今年度がスタートして5ヶ月が経とうとしております。

そこで、皆さんにお約束した目標の進捗状況を確認したところ、会員増強の動きが気になりました。

2名以上の純増に対し、今のところ山岡会員のみの入会に留まっております。

出来れば目標より多くの会員を増やしたいと願っておりましたが、このままの流れで進んでしまいますと、目標達成も危ぶまれそうです。

後付けではありましたが、今年度岡谷RCのテーマは「楽しく奉仕の輪を広げよう」と作成いたしました。年度当初に、作成に至った経緯とその思いをご説明させていただきましたが、端的に言えば「奉仕していただける仲間づくり」のお願いです。

この所円安傾向であり、日経平均株価も2万円を超えております。企業の景気も回復の兆しが見えてきたところもありますので、今の環境は会員増強に追い風といってよいかと思えます。

私も会員増強に向けてより一層の努力をしてまいりますので、皆さんのお取引先、友人など心当たりのある方がおりましたら、是非ご紹介いただきたいと思います。

会 長 報 告

- ホテル岡谷の経営交代につき、前社長の小野さんとお話いたしました。この会場とクラブ事務所全て新しい経営者に譲渡されているとのこと。また、今までは口頭での約束であったため契約書等は存在しないそうです。新しい経営者の方には、これまでと同様ということをお願いしますとお話してあります。文書での契約書もお願いしてありますが、多忙のためまだできていないそうです。現時点での報告であります。今ま

でと形態は変わりませんので、あまり心配なさらないでください。小野さんからは皆さんに宜しくお伝えくださいとのことでした。

幹事報告

- R財団のクラブ寄付として、一人当たり、ポリオ 30 \$ (Rレート 114 円)と、平和センター 500 円の寄付をいたしました。
- 次週 11/28 は休会です。次回は 12/5 で、年次総会となります。
- 例会のお弁当の注文が前日までとなりましたので、欠席連絡は「前日の昼 12 時」までをお願いします。

委員会報告

米山記念奨学委員会 米山特別寄付ですが、目標としておりました 75 万～80 万を超えましたので御礼を申し上げます。ご協力ありがとうございました。

社会奉仕委員会 薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」運動の募金は本日で回収いたします。約 4 ヶ月間ご協力いただきありがとうございました。



卓話「そうだったのか！ロータリー財団」

第 2600 地区 R 財団委員会資金推進小委員 太田 博久 会員

本日は昨年につき、R 財団のお話をさせていただきます。

今月は R 財団月間です。クラブへも一人あたり 150 \$ の寄付を目標にお願いしております。今年度 2600 地区は宮坂有洪委員長の下、R 財団委員会が動いております。岡谷クラブは地区の中でもトップ 3 に位置するくらいの寄付を毎年続けております。これは地区補助金の額にも影響してくるので、引続きお願いいたします。米山寄付は達成できたのご報告がありましたので、この先は是非 R 財団への寄付をよろしく願いいたします。この資料は昨年 R 財団 100 周年を記念して作成されたものです

【 I ロータリー財団の使命と歴史】

I-1 ロータリー財団の指名

使命

ロータリアンが
健康状態を改善し
教育への支援を高め
貧困を救済することを通じて
世界理解、親善、平和を
達成できるようにする



世界でよいことをした100年

I-2 ロータリー財団の成立ち

アーチ・克蘭フのビジョン(1917年)

諸々の社会奉仕を
今まで通りに実行していくには、
慈善・教育・そのほかの
社会奉仕の分野において
世界でよいことをするための
基金を作るのが、
極めて適切であると思われる

—アーチ・克蘭フ、
1917年



アーチ・克蘭フは、ロータリーの恒久的な基金というビジョンの実現に尽力したことから、「財団の父」と呼ばれています。

I-3 ローターリー財団 100 周年

今年6月、100 年前に「ロータリー財団」設立の端緒となる記念すべき大会が開催された米国アトランタのロータリー国際大会において、財団 100 周年祝賀行事のフィナーレを飾る催しが行われました。

I-4 この 100 年の寄付額の推移

1917 年になされた最初の 26ドル 50 セントの寄付から、資産 10 億ドルの世界最大規模の財団に成長し、今日、何百万人もの生活に変化をもたらしています。

【II R 財団の主なプログラム】

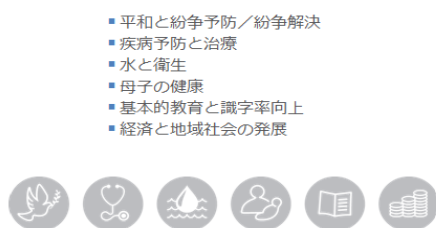
II-1 初期の財団プログラム

1947 年、財団は「高等教育のためのロータリー財団フェローシップ」というプログラムを開始しました。ロータリーの奨学生の中には、日本人宇宙飛行士の山崎直子さんや、元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんなどがおられます。

II-2 最初の 3-H ポリオ補助金

ポリオ撲滅をめざす闘いは国際ロータリーのプログラムの中でも、重要な位置を占めており、フィリピンの子ども 600 万人にポリオ予防接種を提供するための複数年プロジェクトはマニラの子どもたちへの経口ポリオワクチン管理を通じたプロジェクトから開始されました。

II-3 グローバル補助金6つの重点目標



II-4. グローバル補助金 事例



【III 新しい補助金モデル】

III-1 「未来の夢」計画と新しい補助金モデル

「未来の夢計画」と呼ばれる、地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラントの 3 種類のみが提供されるこの新しい補助金モデルは、2010 年から試験的に導入され、2013 年、全世界で導入されました。

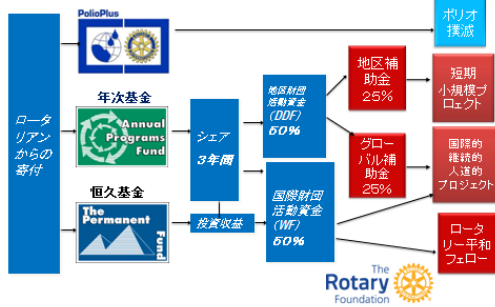
III-2 地区補助金

・小規模、短期のプロジェクト ・地元または海外での活動 ・R財団の指名を支える活動 ・年に一度、地区に一括支給

III-3 新しい補助金モデルでの実績

- ・25 億人の子どもにポリオ予防接種を行い、野生ポリオウイルスによる発症数は 99.9%減少
- ・900 人以上のフェローが平和センターで研究を行い、紛争解決、戦後処理、平和推進のスキルを習得
- ・何十万人もの人びとに、きれいな水へのアクセス、医療と保健、教育の機会を提供

Ⅲ-4. “資金の流れ”から見た「新しい補助金モデル」



Ⅳ-1. 2016-17年度:第2600地区の取り組み

今年度はロータリー財団設立100周年の記念すべき年
 《ロータリーと財団は車の両輪》
 ・ロータリー財団へ \$150
 ・ポリオ撲滅 \$40と平和センター\$10
 財団設立100周年を記念して必ず達成させる

※山形記念奨学会へは普通寄付3,000円以上と特別寄付を合わせて一人20,000円以上を目途に

・本日の資料や毎年更新する地区補助金についても、第2600地区のHPにもアップされており、まだまだ分かりにくい部分もありますので、是非HPをご覧ください。ご理解いただければと思います。

ロータリーの活動は車の両輪と言われているように、R財団の活動をしていくうえでは大変重要な部分になっていると最近実感しております。皆さんもR財団により理解を深めていただき、継続的なご協力をお願いいたします。

本日はありがとうございました。

ニコニコボックス

《11/14》

宮澤由己 本日はおいしい鰻で、秋の夜長を楽しんでください。

牛山幸一・小口 隆・小口泰史・尾関秀雄・笠原新太郎・北澤洋之介・小山 智・薩摩 建・佐藤有司・瀬戸雅三・高木昭好・中嶋孝一・中村文明・濱 毅・林 裕彦・林 靖高・宮坂晃介・宮坂 伸・矢島 進・山岸邦太郎・山崎典夫

観光荘さん、今夜はお世話になります。

《11/21》

小口泰史 11月1日の創業記念日に、本社を下浜から創業の地の上浜に移転しました。今後とも宜しくお願いします。

高木昭好 11月12日カノラホールで開演した第63回岡谷せせらぎ会の演奏会、大勢の方に聴いていただき、ありがとうございました。来年に向かって歌い続けていきます。

太田博久 今日はロータリー財団についての卓話をさせていただきます。よろしくお願い致します。

今井康善・牛山幸一・小口 隆・佐伯克己・佐藤有司・高木昭好・高木克彦・中畑隆一・中村文明・濱 俊弘・林 尚孝・林 靖高・平沢清文・宮坂晃介・宮坂 伸・宮澤由己・矢島進・山岸邦太郎・山崎典夫・山岡俊幸

太田博久会員、卓話よろしくお祈りします。

出席報告

会員数40名、出席者22名、出席率55.0%、前々回訂正80.0%

2017-2018

岡谷ロータリークラブテーマ

『楽しく奉仕の輪を広げよう』



2017-2018年度RIテーマ
 ロータリー:変化をもたらす
 ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

